

前南生の活躍、そして期待すること

十年ぶりに前南に戻ってきた。戻ってきてまず驚いたことは中庭の趣が変わったこと。以前の中庭は鬱蒼としてジャングルのようなだった。その真ん中にシンボルである楠木がドンと構えていた。今は実にすっきりしている。楠木は少し小ぶりになったが、何よりも明るくなった。

さて、本校にとって今年度最大のイベントは「楠祭」であろう。テーマは「NEW」。生徒たちは様々な発表や展示を行った。高校生をはじめ保護者の方、中学生、小学生などたくさんの方で賑わった。地元の自治会長さんたちも来校してくれた。感謝の気持ちを伝えるとともに、いろいろお話しすることもできた。前南が地域の方々から期待されていることを強く感じた。

9月のスポーツ大会は実に愉快的な二日間であった。企画力や行動力だけでなく、全校生徒が一つになって大会を盛り上げようとする団結力に頼もしさを感じた。11月の創立記念マラソン大会も生徒はよく頑張った。レース後、保護者の方々に作っていただいた豚汁を男子生徒、女子生徒そして教職員もおいしくいただいた。

今年度はもう一つ大きな取組があった。前南初の海外修学旅行である。四泊五日で台湾を訪れた。国立龍潭高級中学と学校交流を行った。言葉を越えた若者同士のふれあいが、生徒にとって貴重な体験となったことと思う。お別れ会の席で龍潭高級中学の校長先生から、来年4月に本校を訪問したいというご挨拶をいただいた。今回の修学旅行最大の成果だと思う。前南が訪問校としてふさわしい学校だと認められたということである。

部活動に関しても生徒は大いに活躍した。カヌー部、吹奏楽部の全国大会における入賞。登山部の全国選抜大会出場。弓道部の関東大会入賞。運動部は各方面で前南の「元気」をアピールしてくれた。文化部も演奏会や展示会、発表会など、多彩な活動をとおり前南の爽やかなイメージを伝えるとともに感動も与えてくれた。

最後に、前南の生徒に望むことを述べたい。それは校歌の一節にもある。「青雲の夢をし掲げ たくましく歩み進まん」。もっと大きな夢、より高い志を持て。これが今の前南生に、あらためて望みたいことだ。小さくまとまってほしくない。「やればできる」というのもだめだ。前南生は皆未知なる可能性を秘めている。自分の可能性を信じ、情熱とエネルギーを高校生活に思う存分ぶつけてほしい。うまくいかないこともあるだろう。失敗や敗北も経験するかもしれない。それでもいい。大きな夢を抱き、未来に向かって勇気をもって突き進め！